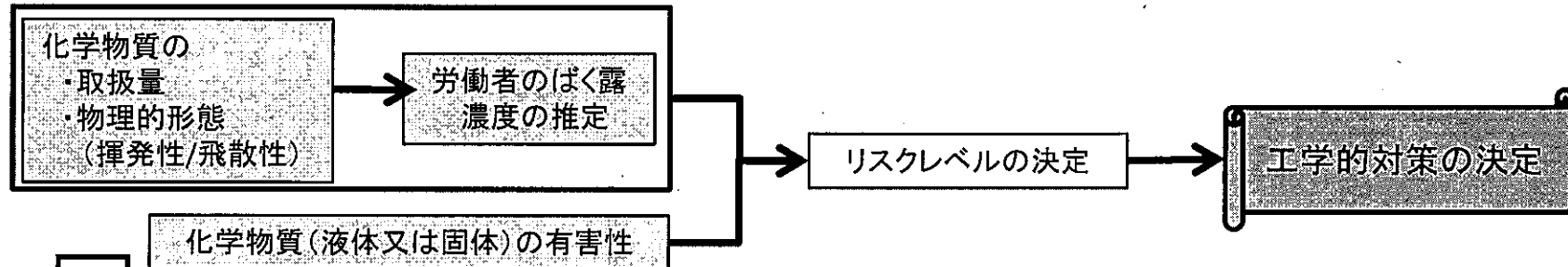


コントロール・バンディングの概要

資料4-8-1
(再配布)

コントロール・バンディングとは

化学物質管理を取り扱う作業ごとに、「化学物質(液体又は固体)の有害性」、「物理的形態(揮発性/飛散性)」、「取扱量」の3つの要素(ドイツ方式にあつては「短時間ばく露」及び「制御装置」を含めた5要素)によって、リスクの程度を4段階にランク分けし、管理のための一般的な工学的対策の実施事項を各々の区分ごとに示すほか、一般的に行われる作業については、より具体的な事項を個別の管理手段シートとして示すことができるツールである。専門的知識を有する人たちに頼ることが難しい中小企業などでも利用のできることが高く評価されている。



具体的な手順

3つの要素(ドイツ方式にあつては、5要素)を選択(専用ソフトを用いる場合は画面上から入力)すると、労働者がばく露すると推定されるばく露量(このばく露濃度には一定の幅、レンジがあり、この幅のことをバンドという。)を自動的に予測できる。これにより、予測されるばく露量を踏まえたばく露防止のために必要な工学的対策(保護具だけでいいのか、局所排気装置の設置を要するのかなど)が具体的に示される。

コントロールバンディングの流れ

